三三　おきやがりこぼし

一、面白く歌はしむべし。

二、すらりとした旋律なれど、八分休止符を以て起れるが故に、拍子の上に多大の困難あることに注意すべし。

三、息つぎは最初は二小節づつとし、稍々習熟するに及び四小節にて息をつがしむべし。

四、第二段の前半を強聲に他は中強にて歌はしむべし。

尋常第三學年

三四　櫻

一、全曲優美に歌はしむべし。

二、第三段第一・二小節の所稍々緩かに、特に明確に歌ひ、終りの二小節は次第に輕く歌はしむべし。

三、二分の二拍子は四分の四拍子より稍々速に歌はしむべし。

四、第一段中強、第二段前半強、後半中弱、第三段中強にて歌はしむべし。

三五　春が來た

一、愉快に歌はしむべし。

二、出來上りたらば少し早めて歌はしむべし。

三、第一段及び第二段第二小節の「タ」の「·1」音を輕く奇麗に歌はしむべし。

四、第二段第三小節の「5」より「·3」に移る所を輕く歌はしむべし。

三六　日本海々戰(海軍記念日)

一、軍歌調なれば勇壯に歌はしむべし。

二、二拍子の拍法に從ひ、第一拍を強く明瞭に、第二拍を輕く歌はしむべし。

三、附點音符の音長に注意し、拍子の餘り早きに失せざるやうにすべし。

四、第一段前半強、後半中強、第二段前半中弱、後半強、第三段中強にて歌はしむべし。

五、第三段終り四小節「アアコノイッキョ」の所は、落付きて稍々拍子を緩め、殊に最終は完全五度にて終れるを以て、聲をゆつくり使用せしむべし。

三七　蝶々

一、全曲稍々早く軽く歌はしむべし。

二、最初は二小節づつにて息をつがせ、出來上りたらば四小節づつ一息に續けしむべし。

三、二拍子の拍法に從ひ、第一拍を明瞭に歌はしむべし。

四、息つぎのときは、前の音符を短かくして休止符を作るべし。

五、第一段中强、第二段前半を弱、後半を中强にて歌はしむべし。

三八　地久節

一、二小節づつにて息をつがしむべし。

二、第二段第二小節の終りより第三小節に移る所、何だか不安の心持あるを以て、(3.6)の音程を十分練習すること肝要なり。

三、全曲中强にて歌はしむべし。

四、四拍子の拍法に從ひ第一拍と第三拍とを强く歌はしむべし。

五、靜肅に愉快なる心持を以て歌はしむべし。

三九　蟲の聲

一、第一段第二小節第二段第一・三小節第三段第二小節の終りの八分音符が、四分音符のやうに長くなり易ければ、輕く短かく歌はしむべし。

二、第二段第一小節なる同音を誤らざること及び第四段第三小節の「アアオモー」より稍々緩かに確かり歌ふことに注意すべし。

三、第二の歌詞に於て「ウマオヒ」と「スイッチョン」の所歌ひ誤るもの多し。特に注意すべし。

四、全曲樂しげに歌はしむべし。

四〇　鶫越

一、四拍子の拍法に從ひ、全曲元氣よく歌はしむべし。

二、第三段第二小節四分休止符の上にある「5」は、第二・三歌詞に適用するものなり。

三、凡べて二小節毎に息をつがしむべし。

四一　山登り

一、二分二拍子の曲は四分四拍子より稍々速かに歌はしむること、「櫻」の曲と同樣なり。

二、全曲樂しげに歌はしむべし。

三、記載の發想に十分注意し、各段とも前半を強く、後半を弱く歌はしむべし。

四、息つぎは二小節づつとし、其の息つぎの際は前の音符の音長を固有の長さより少し短かくして、休止符を作るべし。

五、第三段第二小節「アキノ」を明瞭に緩くり歌はしむべし。

六、弱聲より起れる反復的曲節なることに注意すべし。

四二　日本の國

一、全曲優美に歌はしむべし。

二、二拍子の拍法に從ひ、第一拍を明瞭に歌はしむべし。

三、最初より四小節毎に息をつがしむべし。

四、第二段第六小節の「6」を輕く歌はしむべし。

五、第四段は稍々落ち著きてしつかりと歌はしむべし。

四三　雁

一、息つぎは二小節づつとす。

二、第一段第三・五・六小節、第二段第三小節なる(4)音を曖昧に歌はしめざること及び第三段第二小節の(6)音を輕く出ださしむべし。

三、息つぎのときは前の音符の音長を少し短かくして休止符を作るべし。

四、最初は「ヘ」調に下げて教授し、出來上りたらば原調に復するやうなすもよし。

五、拍子が遲くだらしなくならざるやう注意すべし。

六、全曲中强にて愉快なる情を以て歌はしむべし。

四四　勅語奉答

一、遅き拍子にて壯大に歌はしむべし。

二、最初教授の際は二小節づつにて息をつがせ、練習を積むに從ひ、四小節(一段落)を一息にて歌はしむべし。

三、第二段第五小節の「アナタフトシナ」の所を特に強く歌はしむべし。

四、第一段第七小節「コヽロニエリテ」を輕く歌はしむること及び第二段第三小節の「アサユフ」の「ユフ」の音長に注意し明瞭に歌はしむべし。

五、眞心を込めて歌はしむべし。

四五　鶏の聲

一、息つぎは二小節づつとし、前の四分音符の音長を少し短かくして休止符を作るべし。

二、第一段第五小節と第六小節の「コケッコ」の所を明瞭に歌ひ分くべし。

三、「5」より「3」音に至る六度音程に注意すべし。

四、最終の二小節は輕く切つて歌はしむべし。

五、全曲温和にして愉快らしく歌はしむべし。

四六　豐臣秀吉

一、全曲元氣よく歌はしむべし。

二、第一段第一小節「ヒヤク、ネン」の「ヒヤク」を(6)ミ、(5)ソ、に誤るものあり。注意すべし。

三、第五段は緩くり落付きて奇麗に十分聲を使用せしむべし。

四、最初は「ヘ」調に下げて敎授するをよしとす。

四七　梅

一、此の曲節は西洋調にして、且つ音程の六箇敷き所あれども、敎へて見るとさまで困難を感せず。

二、最初「ハ」調にて敎授するもよし。

三、第二段第六小節目の「イッッ」の所稍々緩かに、且つ「ッ」の(i)音を延聲して十分聲を使用せしむるを可とす。

四、全曲優美に歌はしむべし。

四八　港

一、初めて三拍子を授くるものなれば、一小節内の拍數及び其の强弱を會得せしむべし。

二、束縛なき自然の發聲により趣味と元氣とを以て樂しく歌はしむべし。

三、最初は二小節づつにて息をつがしむべし。

四九　大國民唱歌(其一)(尋三以上)

一、全曲快活の情を以て歌はしむべし。

二、四小節づつにて息をつがしむべし。

三、二拍子の拍法に從ひ、第一拍を明瞭に歌はしむべし。

五〇　春の野

一、全曲優美にしかも快活なる情を以て歌はしむべし。

二、二拍子の拍法に從ひ、第一拍を明瞭に歌はしむべし。

三、此の歌曲は平易流暢なれば、兒童の覺ゆることも早く、少しも困難を感せず。

五一　田舍の四季

一、八分四拍子は四分四拍子より少し速に歌はしむべし。

二、四拍子の拍法に從ひ、第一拍と第三拍とを強く歌はしむべし。

三、最初は變ホ調か(ニ)調に下げて教授するも可なり。

四、第一段及び第三段第三小節(2.6)第二段第四小節(2.550)の音程に注意し、強くならざるやう輕く歌はしむべし。

五、發想に注意し、愉快なる情を以て歌はしむべし。

五二　谷村計介

一、情ある軍歌調なれば、全曲活潑に歌ふべし。

二、第一段と第二段との第五、六小節を曖昧にならぬやう明瞭に歌はしむべし。

三、二拍子の拍法により、第一拍を明瞭に歌はしむべし。

五三　虹

一、此の曲も田舎の四季同様八分四拍子なれば、拍子が遅れざるやう注意すべし。

二、息つぎは二小節づつとし、順次練習を積むに従ひ、四小節づつを一息に歌はしむべし。

三、第二段第三小節の「ハシ」の四分音符の音長に注意せむしべし。

四、全曲美しく軽快に歌はしむべし。

五四　月

一、全曲弱聲を以て頗る遲く、愛らしく且つ優美に歌はしむべし。

二、第三段「十五夜」より漸次速度を早め、「見テハネル」は再び漸次速度を緩めて微聲に終り、第二歌詞は再び始めの速度にかへりて歌ひ出すべし。

三、變(ロ)調に下げて授くるも可なり。

五五　燈臺

一、全曲快活なる情を以て歌はしむべし。

二、四拍子の拍法により、第一拍と第三拍とを強く明瞭に歌はしむべし。

三、第一段と第二段の後半を中強に、第二段の前半を弱聲にて歌はしむべし。

四、速度は餘り速くなく中等の速さに歌はしむべし。

五六　廣瀬中佐

一、全曲悲壯の感を以て歌はしむべし。

二、弱聲部より起れる四分四拍子なることに注意すべし。

三、第二段前半は弱聲にて他はすべて中强にて歌はしむべし。

四、氣息は二小節毎になさしむべし。

五七　蟲の樂隊

一、全曲爽快に歌はしむべし。

二、十六分音符を輕快に歌はせ「スタッカト」の所も强からざるやう輕く切らしむることに注意すべし。

三、記載通り十分發聲に注意すべし。

五八　赤穂義士

一、感情を込めて拍子早く、悲壮の様に歌はしむべし。

二、第一段始め四小節は稍々急拍子に、第三段前半四小節にある初めの音符は特に強く歌はしめ、後半四小節は稍々緩かに歌はしむべし。

三、二拍子の拍法に従ひ、第一拍を強く明瞭に歌はしむべし。

五九、日の丸の旗

一、此の曲は四分二拍子に改むるも可なり。

二、全曲爽快の情を以て歌はしむべし。

三、最初は二小節づつにて息をつがしむべし。

四、第三段「アアメデタシヤ、ヒノマルノハタ」の所を緩くり落付けて聲を十分使用せしめ、殊に「メデタシヤ」の八分音符の所は少し聲を延ばして確かに歌はしむべし。

六〇　村の鍛冶屋

一、二拍子の第一拍を明瞭に歌はしむべし。

二、第二段第一小節の「フィゴノ」を曖昧に歌はしめざるやう注意すべし。

三、第一段と第二段の後六小節は強く第二段の前二小節は弱聲にて歌はしむべし。

四、全曲元氣よく愉快に歌はしめ、拍子の早くならざるやうにすべし。

六一　近江八景

一、最初「ハ」調にて教授するも可なり。

二、落付きて優美に歌はしむべし。

三、息つぎは最初より記載通りにて教授すべし。

四、連結記號のある所は圓滑に歌はしむべし。

五、發想は記載通りにすべし。

六、歌詞長く且つ各番の歌ひ方に異同多ければ特に注意すべし。

六二　北白川宮能久親王

一、悲壯の感を以て歌はしむべし。

二、第一段第三小節中の(ロ)音の音度の下らざるやう注意すべし。

六三　臺灣始政紀念日

一、愉快なる情を以て歌はしむべし。

二、二小節づつにて氣息せしむべし。

三、同度音程の移り變りの所に注意すべし。

四、最終の五度音程の所を確かに緩くり歌はしむべし。

六四　野遊び

一、全曲輕く愉快に歌はしむべし。

二、弧線を施せる音符は滑かに歌はしむべし。

三、最初は二小節づつにて息をつがしむべし。

四、第二段第四小節の二分音符の音長に注意すべし。

六五　日本武尊

一、全曲勇ましく歌はしむべし。

二、第一段第二小節の八分音符同第四小節の四分音符同第八小節の四分音符第二段第一小節の八分音符を輕く歌はしむべし。

三、最終の完全五度にて終れる所は緩くり聲を使用して明瞭に歌はしむべし。

六六　加藤清正

一、活潑なる軍歌調なり。

二、二拍子の第一拍を明瞭に歌はしむべし。

三、最初より四小節づつにて息をつがしむべし。

六七　松島

一、全曲中等の速さにて優美に歌はしむべし。

二、強弱に注意して曲想の發揮に努むべし。

三、第二段「ナミハ」の「ハ」と「シロク」の「ク」と「マホサ」の「マ」と「カタホ」の「ホ」の附點二分音符の音長に注意すべし。

四、弱聲より起れることにも注意すべし。

六八　二宮尊徳

一、愛情を込めて歌はしむべし。

二、弱聲部より起れるを以て、各番とも初めのだしを輕く歌ふことに注意すべし。

三、前の音符を延長し、それがため四分休符の所にて休止せざるものあり。十分注意すべし。

四、三拍子の拍法に從ひ第一拍を強く明瞭に歌はしむべし。

五、休止符のところにて氣息せしむべし。

六九　近江八景

一、全曲優美に歌はしむべし。

二、弱聲部より起れる曲なれば、歌ひ出しには前曲同樣の注意を要すべし

三、第二段の第二六小節中にある二分附點音符の音長に注意すべし。

四、第二段の始め「ヒトリタテル」と「アメカナミカ」の所を輕く歌はしむべし。

五、休止符以外にて息をつがしむべからず。

七〇　明日は日曜

一、全曲快活に歌はしむべし。

二、高音の所を奇麗に軽く歌はしむるやう注意すべし。

三、二拍子の拍法に従ひ、第一拍を強く明瞭に歌はしむべし。

四、四小節づつにて息をつがしむべし。

七一　三才女

一、全曲優美にしかも落ち付きて歌はしむべし。

二、當曲は音程稍々困難なれば注意して教授すべし。轉調の所は特に注意すべし。

三、「近江八景」の曲と同じく弱聲部より起れることに注意すべし。

四、息つぎは記載通りになさしむべし。

七二　妙義山

一、優美に歌はしむべし。

二、三拍子の拍法に從ひ第一拍を明瞭に歌はしむべし。

三、第一段第五小節以下を強く歌ひ、尚ほ終二小節の音程に注意すべし。

四、第二段の始め二小節を輕く弱く歌はしむべし。

五、第二段第五小節の「3」より「6」に移る所「6」を輕く歌ひ、終り二小節の五度音程の所確かにゆつくり歌はしむべし。

六、息つぎは二小節づつにてなさしむべし。

七三　水師營の會見

一、二拍子に改めて歌はしむるも可なり。

二、情を込めて歌はしむべし。

三、二小節づつにて息をつがしむべし。二拍子の場合には四小節にて息をつがしむべし。

七四　瀬戸内海

一、弱聲部より起れることに注意すべし。

二、全曲美しく温和にして、抑揚ある歌ひ方をなさしむべし。

三、第二段終りにある「6」音を軽く歌はしむべし。

四、息は二小節づつにてなさしむべし。

七五　北條時宗

一、勇壯なる軍歌調なれば、勇ましく元氣に歌はしむべし。

二、四小節づつにて息をつがしむべし。

七六　舞へや歌へや

一、八分音符の弱聲部より起れることに注意すべし。

二、息は記載通りになさしむべし。

三、全曲輕く樂しく歌はしむべし。

四、第二段後半にある强聲部の「4」の音を强く明瞭に歌はしむべし。

七七　六氏先生

一、靜かに悲壯の感を以て歌はしむべし。

二、二小節づつにて氣息せしむべし。

七八　にぎみたま

一、謹嚴なる態度を以て歌はしむべし。

二、二小節づつにて息をつがしむべし。

三、拍子がだらけざるやう注意すべし。

七九　大國民唱歌(其の二)(譯五以上)

一、全曲活潑に歌はしむべし。

二、第二段第五小節の半音程の所曖昧にならざるやう注意すべし。

三、第二段最終の五度音程のところ稍々緩くりと明瞭に歌はしむべし。

四、二拍子の第一拍を強く明瞭に歌はしむること前に同じ。